学校番号	２１５

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校理科用「生物」　　（啓林館）						
副教材等	ニューグローバル生物基礎＋生物（東京書籍） 三訂版ニューステージ生物図表（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

理科・生物という枠組みに捕われず、①授業を通じて知識や情報を活用する、②広い視野と論理的な思考力を身に付ける、③学際的な興味関心を養う、これら３つを意識して学習に取り組んで下さい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生物学の基本的な概念や原理、法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。
【思考力・判断力・表現力等】
目的意識を持って観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てる。
【学びに向かう力、人間性等】
生物や生命現象に対する探究心を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生命現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	習得した既知の知識を用いて課題から問題を見いだし、探究する過程を通して、未知の事象や最新の科学的成果を探究し、その結果得たものを的確に表現し他者に伝えることができる。	身近な生命現象や生物に対して観察と実験を通じて関心や興味をもち、自主的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生物の特徴	生物の多様性と共通性 エネルギーと代謝 呼吸と光合成	a: 生物の共通性とその由来を理解する。エネルギーと ATP および生命活動の関係を理解する。 b: 生物に見られる特徴や共通性、進化との関係性について説明できる。生物とエネルギーの関係について説明できる。 c: 生物の多様性と共通性、エネルギーと代謝に関心をもち主体的に学習に取り組める。	・定期考査	・定期考査	・ノート ・観察 ・実験 ・問題集
	遺伝子	遺伝情報とDNA 遺伝情報の複製と分配 遺伝情報の発現	a:DNA の構造、複製、タンパク質合成について理解する。 b: 遺伝情報と DNA、遺伝情報の複製と分配、遺伝情報の発現について説明できる。 c: 遺伝情報と DNA、タンパク質合成に関心をもち主体的に学習に取り組める。			
	体内環境	体内での情報伝達と調節 体内環境の維持のしくみ 免疫のはたらき	a: 体内環境、恒常性、それらを守る免疫について理解する。 b: 体内環境の維持のしくみ、自然免疫や獲得免疫について説明できる。 c: 体内環境、恒常性、免疫に関心をもち主体的に学習に取り組める。			
2学期	生物多様性	植生と遷移 植生分布とバイオーム 生態系と生物多様性 生態系のバランスと保全	a: 植生と遷移、バイオーム、生態系と生物多様性について理解する。 b: 植生と遷移、バイオーム、生態系と生物多様性について説明できる。 c: 植生と遷移、バイオーム、生態系と生物多様性に関心をもち主体的に学習に取り組める。	・定期考査	・定期考査	・ノート ・観察 ・実験 ・問題集

	生物の進化	生命の起源と生物の進化 遺伝子の変化と多様性 遺伝子の組み合わせの変化 進化のしくみ	a: 生物進化と生命の起源、遺伝子について理解する。 b: 生物進化と生命の起源、遺伝子について説明できる。 c: 生物進化と生命の起源、遺伝子に関心をもち主体的に学習に取り組める。			
3学期		生物の系統と進化 人類の系統と進化	a: 進化と系統について理解する。 b: 進化と系統について説明できる。 c: 進化と系統に関心をもち主体的に学習に取り組める。	・定期考査	・定期考査	・ノート ・観察 ・実験 ・問題集
	生命現象と物質	生体物質と細胞 タンパク質の構造と性質 化学反応に関わるタンパク質 膜輸送や情報伝達	a: 細胞とタンパク質について理解する。 b: 細胞とタンパク質について説明できる。 c: 細胞とタンパク質に関心をもち主体的に学習に取り組める。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度